

行政

急がずに市民が納得する建て替えを 基本設計で市民意見取り入れ進める

市役所本庁舎建て替え

石原よしのり議員(民主・連合)
市は事業費200億円を超える庁舎整備基本構想を性急に決定し強引に進めようとしている。急ぐ理由として第二庁舎の耐震強度不足を挙げているが、仮庁舎へ移転してまず第二庁舎を無人化した後、事業を一旦止めて将来の市役所のあり方を改めて議論し、市民が納得する建て替えをすべきと考える。市の考えを問う。

答 事業を一旦止めた場合、仮庁舎運用の延長に伴う市民サービスへの影響等がある。また将来の大地震への備えも考慮しなければならぬ。市民意見を多く取り入れるため、今後、基本設計でワークショップ等を実施し、事業を進めていく。

一般質問

9月定例会では、33人の議員が一般質問を行いました。質問の持ち時間は答弁を含めて1人60分です。ここでは紙面の都合上、1人1項目を選び質問・答弁を要約し、ジャンルごとにまとめて掲載しました。

<会派の略称>
無所属・市民=無所属の会・市民ネット

行政

平和行政

平和に対する本市の姿勢は 都市宣言の趣旨訴え次世代に継承

寒川一郎議員(みらい)
シリアの化学兵器使用疑惑や日本と近隣国との不協和音等、世界情勢が混沌としている昨今、本市も加盟

答 平和首長会議の活動に

関連して、本市では、核兵器廃絶平和都市宣言の趣旨に則り、パネル展や平和の折鶴事業等の平和啓発事業を展開している。宣言にある「生命の尊厳」という言葉は大変重みのあるものと受け止めており、宣言の趣旨を対外的に訴え、その意識を次世代に継承していかねばならないと考えている。

動物愛護と適切な管理

猫殺処分ゼロに向けた市の対応は 猫不妊等手術費助成の拡充を図る

金子貞作議員(日本共産党)
「動物の愛護及び管理に関する法律」が改正され、平成25年9月1日に施行されたが、依然として多くの

答 猫が殺処分されている。今後、市はどうか対応するのか。また、24年12月議会で採択された猫不妊等手術費助成金交付制度に関する申請を受けた検討内容はどうか。

答 市としては、改正法にある「飼い主の終生飼養」を強調し、家庭動物の適正な飼養について更なる周知・啓発に努めていく。また、手術費助成については、申請受付場所の拡充や郵送受付等の申請機会の増加や募集時期の改善を図った。使い易い制度となるよう、頭数拡大等を検討していく。

私立保育園補助金

独自に監査実施 市は指摘を認めるか 指摘は至当 重く受け止め対応する

越川雅史議員(無所属・市民)
私は、私立保育園に交付する補助金について、監査中の園以外でも問題がある

答 営する全28園の資料を取り寄せ独自に監査を実施した。その結果、過大な支出を約200万円、交付基準から逸脱した支出を約1050万円検出した。市はこれらの支出を事実と認めるか。

答 確認の結果、指摘至当の部分がある。指摘を重く受け止め、補助制度マニュアルの改善・周知や制度全体の見直しによって正確な事務処理を図ると共に、セルフモニタリングが十分働く職場作りを行う。今後、現在監査中の園以外についても調査を実施していく。

市営霊園

新規墓地造成の計画内容は 計1100区画造成 待機者解消を図る

加藤武央議員(自由クラブ)
私は墓地待機者の早期解消を求め、議会等で新規墓地造成等の支援策を強く要望してきた。市は平成25年

答 新規墓地は芝生墓地と普通墓地の合計1100区画の造成計画である。25年度の募集数は過去抽選もれした人を含め、約1000人程度を想定している。また、市営霊園の維持管理の向上には市内石材業者の協力も必要と認識しており、墓地の募集状況等の情報をできる限り提供していきたい。

度、新規墓地造成工事に着手するのだが、計画の内容を問う。また墓地待機者の支援と同時に、市内石材業者への支援もすべきと考えるが、市の考えはどうか。

行政

私立保育園補助金

不適切な取り扱い どう対処 監査結果受け対応 再発防止を図る

石崎ひでき議員(みんなの党)
市は、ある私立保育園の運営法人から補助金を過大に請求され、これを支出した可能性が高いと発表した。

答 市の担当者がこの問題を発見したにも拘らず、部内で申請通りの交付を決定しており、公金たる補助金が基準を逸脱して交付されている。市の今後の対応を問う。

答 市は、監査終了後、速やかに結果を公表し、明らかになった過大請求の内容と金額を基に法人に対し返還請求を行う。また、部内での不適切処理やチェックの不備については、職員に然るべく対処し、再発防止の徹底を図ると共に、補助金体系の抜本的な見直しを行い、適切に運用していく。

市長の市政運営

「市民発」の達成と今後の方針は 引き続き市民目線での市政を進める

中山幸紀議員(自由民主党)
市長就任から4年、問もなく1期目を終えるに当たり、掲げてきた「市民発の行政」の達成度につき、市

答 長の評価はどうか。また、今後の市政運営についての方針、あるいは北東部に於ける具体的な施策を問う。

答 就任後、様々な市民から意見を聴き、市民目線での達成度につき、市の今後の対応を問う。

判断材料に意思決定してきたが、市民発の達成には道半ばである。今後もこの姿勢で、市の個性を求めつつ、未来のためにという視点に立って市政を運営し、美しい街づくりや行政改革を進める。また、武蔵野線新駅設置と周辺のスマートタウン化、北東部のスポーツタウンの実現にも努めたい。

市長の公約

実施状況と今後の政策は 安定した運営実施 更に改革を進める

秋本りのり議員(無所属・市民)
市長は、前回の選挙時に保育園の待機児童解消、小中学校の給食費無料化、道路交通網整備、市政戦略室

答 新設の4点を公約として掲げた。就任後、これらの公約をどのくらい達成し、今後はどういった事業を推進すべきものと考えているか。

答 就任後、早期に市政戦略室を設置し、認可保育園の定員拡大や外環道路等の整備を進め、給食費無料化は対象者を定めた上での実施とした。満足な結果ではないが、厳しい財政状況下で安定した行政運営を行えた。今後は、民営化促進等の行政改革に加え、健康長寿策や女性の社会進出支援策を考えている。

市政戦略会議

使用料等見直し答申 今度の進め方は 基本方針として尊重 料金は個別検討

高坂進議員(日本共産党)
市長の諮問に対して出された市政戦略会議の答申では、使用料・手数料の見直しにつき大幅な値上げを肯

答 定している。答申内容を利用者である市民にもっと知らせる意見を聴くべきと考えるが、答申を受けて市は今後どう進めていくのか。

答 施設に必要な経費と実際の料金との乖離等を踏まえた市政戦略会議の答申内容は重く受け止め、基本方針に反映していく。一方、実際の改定には各施設の目的や現状等を反映した個別の検討が必要であり、並行して市民への情報発信や調査等を行った上で、平成26年2月議会で条例改正案を上程できるように準備していく。